



4階のショールームには、スイッチカバーだけでも100点を超える商品が展示されている。建築金物の多様性に圧倒されること必至



動きをデザインする。 生活の質を上げるスガツネの技術

パーツまでこだわりたい派の建築家・松山さんが、建築金物・家具金物などの国内トップメーカーの『スガツネ工業株式会社』を訪問。

知るほどに面白い
金物の世界をご紹介します!



アーキテリア事業部
福岡営業所 主任

浜村 昌平 さん
SHOUHEI HAMAMURA

福岡営業所 所長

武 伸行 さん
NOBUYUKI TAKE

株式会社アポロ計画
リノベエステイト

松山 真介 さん
SHINSUKE MATSUYAMA

PROFILE ●松山 真介 / 福岡市在住。一級建築士・宅地建物取引士として活動しながら、2000年にクリエイティブカンパニー「アポロ計画」を設立。同社の中に立ち上げた中古建物の再生事業部「リノベエステイト」の代表も兼任。一般社団法人リノベーション協議会九州部会会長。サウナーとしても有名



博多駅近くにある福岡営業所内のショールームは、平日の営業時間内なら予約なしで訪問できる

国民全員が お世話になっている 創業95年の老舗メーカー

松山：僕は建築家なので、ドアノブやレールなどパーツにはすごくこだわりがあります。でも一般的に家を買う方は、なんとなく決まっているものから選ぶことが多いので、選び損ねていると思うことがあります。スガツネ工業さんの世界を知れば、一般の方の選択肢や見方も変わるんじゃないか。そんな思いで伺いました。

武：ありがとうございます。弊社は菅佐原常三郎が1930年に、家具金物を販売する会社としてスタートしました。1943年に『スガツネ工業株式会社』となりましたが、オリジナル商品は

「LAMP」や「ランプ」名で展開していますので、そちらの方をご存知の方もいらっしゃるかも知れません。

松山：95年前ですから、戦前の創業ですね。

武：そうですね。戦前、戦後の混乱期は世の中が暗い時代でもあったと思いますが、家具の金物は皆さんの生活に携わる仕事ですから、世の中を少しでも明るくできたらという考えと、「常」の字が「火に吊るす」と転じて、そこから知恵と勇気の特徴である「火の利用」という所から、ランプのマークを使い始めたと聞いています。

松山：それが、ブランド名として残っているんですね。僕は暇さえあれば「LAMP」のカタログを見るくらい好きですが、家具金物や建築金物という言葉は初めて耳にする読者も多いと思います。簡単に説明していただけますか。

武：弊社が手掛けているのは、家具金物、建築金物、産業機器用機構部品の3カテゴリーです。家具金物は、キャビネットにつけるつまみなどの金具が中心で、箱物につけるイメージですね。建築金物は、扉を吊ったり、動かしたり、開

閉する時に動いている金物のことです。皆さんが日々生活されている中で、建物に付随している設備を支えているのが建築金物です。

九州で業界最大規模
プロユースのショールーム

松山：商品点数も多そうですね。約3万点あります。

武：約3万点あります。みんな知らず知らず、スガツネさんの商品に触れて生活しているし、スガツネ製品に触れずに生活している国民はいないと言いつけるくらい。それくらい豊富にあるから選んだら面白いんですが、施主さんに3万点から選んでもらうのは難しい。その分、僕らがきちんとセレクトシヨップの役目を果たすべきだと思ってるんです。

武：福岡営業所の3〜5階はショールームになっていますから、ぜひ活用いただきたいですね。建築関係の方が気軽に立ち寄られていきますし、家の打ち合わせをここでされる方もいらっしゃいます。

松山：ビル棟にこれだけ金物が展示してある場所はありませんからね。さすがに個人の方は来られ

ませんかね？

武：それが時々いらっしゃるのでよ。金具を見るのが好きという方もおられますし、DIYの参考に

見に来られる方もいらっしゃいます。ただ、ここでは販売していませんので、設計事務所や工務店・施工会社の方と一緒に来場いただくことをおすすめしています。

松山：高級路線の商品も展開されていますよね？

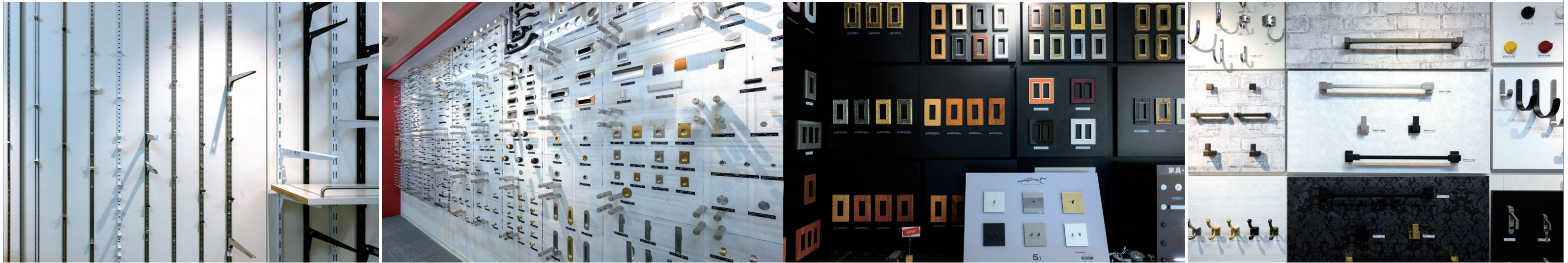
武：「Zwei」(ツヴァイ)ですね。ドイツ語で二つの光を意味する「Zwei Licht」(ツの光)から名付けた「スガツネ」のフラッグシップブランドです。オールステンレス鋼(SUS316)製で耐食性があり、澄んだ湖面を思わせる鏡面は限られた職人が手作業で仕上げられています。一流ホテルのスイートルームや結婚式場などで採用いただいています。

松山：日本国内で製造ですか？

武：はい、日本で作っています。デザインや設計は弊社です。加工は国内の協力工場のお借りしています。なかなか量産できる代物ではないですね。

松山：ここには日本の技術の集大成があるということですね。

動きをデザインする。
生活の質を上げるスガツネの技術



3フロア構成のショールームに、家具金物、建具金物、産業機器用機構部品の製品ラインアップを凝縮した。金物の単品展示は、そのバリエーションに圧倒される。建具金物は実物大の扉での展示、モーション デザイン テック製品は什器での展示もあり操作感を体感できる

SUGATSUNE が作っているのは、“金物”と“機能”

スガツネの多彩な技術を、
建設中のマイホームでも
採用しています！



松山：DIYしようと思って自分でガチャレール(棚柱)を買ったら、メーカーが違って合わなかったという話をよく聞きます。金物は、同じように見えるものが多いから、どこのものを選んで同じに思っている方も少なくないでしょう。ちなみに、スガツネさんの商品はネットなどで買えますか？
浜村：弊社ウェブサイトでほとんど、ご購入いただけるようになっています。また、プロの方々には販売店様を紹介させていただいております。ウェブサイトで、商品を探しやすくしていますし、それを使った施工事例なども載せています。リノベーションする際にも参考にしていただけるのではないのでしょうか。
松山：それはいいですね。使用イ

勤務歴23年。金物には
色々なご要望に応えられる
術があるのが面白い



スガツネが追求する
ユーザに寄り添う機能性

松山：時代に合わせてアップデートされている商品もありますか？
浜村：扉がゆっくり閉まる、開ける時に指が挟まらない商品などが、近年高く評価され、子どもや子どもの産み育てに配慮した商品に授与される「キッズデザイン賞」も受賞しています。使う金物を変えることによって、子育てのしやすさや安全な空間が生まれることを目指しています。
武：弊社が得意としている「モーショントデザインテック」が、評価されてきた証でもあると思います。「モーショントデザインテック」は、作業する環境に扉や蓋のスピード

や動きをフィットさせる「スガツネ」オリジナルの技術。扉の開閉時にスピードが緩やかになる商品が増えていますが、あれは6つある「モーショントデザインテック」のうちの一つ「ソフトモーション」という技術です。私たちが売っているものは金物、部品ですけど、飾ったり、置いたりして終わりではなく、開くとか、動かすとかの機能があつてのものと思っています。
松山：ショールームを拝見し、それを強く感じました。動きのデザイン自体も自社で考えられているんですか？

武：はい、自社に動きをデザインするスタッフがいます。
松山：すごいですね。機能があるのを知っていたら、こういう扉をつけたかった、この金物が良かったという声が聞こえてきそうです。
浜村：エンドユーザー様がされたいことに合わせて選んでいただくのが一番いいと思います。棚をつけるにしても、飾り棚か、可動式か、置くものの重さはどうなのかで、最適解は変わります。施工後の暮らしや使い方で施工業者にお伝えされると、合う商品を提案いただけると思いますよ。



メージがあると、選びやすくなります。製品カテゴリやシーンから検索できるのも便利！施主さんもぜひ見るべきですね。
武：ありがとうございます。実際に、工務店から提供された施工事例を載せています。カタログは全てネット上で閲覧できるようになっていますから、ご利用ください。
松山：大工さんや建具屋さんとはよく話しますが、金物屋さんと直接対話することがないので、お話とごだわりが聞けて良かったです。ありがとうございました。

COMPANY DATA

SUGATSUNE
福岡ショールーム
スガツネ工業株式会社 福岡営業所
福岡市博多区博多駅南1-13-8
TEL 092-461-1122
営業時間：平日9:00~17:30
<https://www.sugatsune.co.jp>



スガツネ工業ウェブサイト